

WebSphere software

IT の複雑さを軽減し、俊敏なビジネスと 最適なコストを実現

既存のメッセージング・ソリューションに ESB の強化を
追加する価値





貴社のビジネスは俊敏で最適化されていますか？

今日のようにダイナミックなビジネス環境と不確実な経済のもとで、低コストでありながら優れた新しい製品やサービスを望む顧客の変わりやすい要求に対応し競争力を維持するには、よりスマートな働き方が必要です。スマートに働くには、新しい収益のチャンスを活かし競合の脅威にも対応する俊敏性が必要です。また、効率の向上と運用と保守経費の削減を両立させて、コストを最適化することも必要です。多くの企業にとって、ビジネスの俊敏性とコスト最適化をはばむ第一の障害は IT の複雑さです。ビジネス目標を達成するために、IT は技術革新を支援する一方で、ビジネスのニーズに迅速かつ簡単に対処していかなければなりません。

多くの場合、IT の複雑さとコストはアプリケーションの統合方法に起因します。10 年以上にわたりさまざまな手法を試してきましたが、未だに多くの組織は適切な時に適切な情報と適切な人を簡単に結びつけることができず、その結果、チャンスを逃しています。これには、次のようにさまざまな要因があります。

- 信頼性の低い接続性。
- スピードと柔軟性を欠いたアプリケーション統合。
- ポイントツーポイントの接続と統合によるコストの高さと複雑さ。
- 人、プロセス、情報の新しい接続方法を効果的に活用できていないこと。

しかし、このような課題は IBM SMART SOA™ によって対処することができます。この手法では、エンタープライズ・サービス・バス (ESB) ソリューションを介してアプリケーションとサービスを統合して、適切な情報を適切な時に適切な人に伝え、最終的に、成功に必要なビジネスの俊敏性とコスト最適化を実現できるのです。

包括的な ESB ソリューションには、メッセージングとエンリッチメントという二つの主要な機能分野があります。メッセージングとは、必要であれば、いつでも、どこにでも、情報を確実に配信することです。これにより、既存のスキルと資産を活用して、サービス指向アーキテクチャ (SOA) であらゆるものを接続できるようになります。エンリッチメントとは、サービス間の通信のマッチングとルーティング、伝送プロトコルの相互対話、データ形式の相互変換、ビジネス・イベントの識別と配布によってメッセージを強化することです。このようなメッセージングとエンリッチメントの機能は、IT 資源への影響を最小限に抑えながら、非常に迅速に変化する柔軟性を IT 部門にもたらします。例えば、ビジネス・サービスの更新や置き換え、既存のサービスを活用した新しい複合ソリューションの開発などです。このような機能によって、アプリケーション・ロジックが接続インフラストラクチャーと複雑にからみあっている場合よりも、多くの再利用が可能になります。





「このソリューションによって、IT の全体像を、独立したシステムの集合というよりも、組み合わせてビジネス・ニーズを満たすことのできるコンポーネントまたはサービスの集合とみることができるようになります。現在のところ、主な利点は、複雑さの軽減と新しいシステムを簡単に環境に組み込める点にあります。しかし、私たちは完全な SOA 戦略に向けて動き始めており、IBM と CSI の提供するこのソリューションは、ビジネス・プロセスに緊密に対応する複合アプリケーションの迅速な開発に役立つはずです。」

— Cattles 社 IT システム開発主任、Paul Manley 氏





エンタープライズ・サービス・バス・ソリューションには、エンリッチメントとメッセージングという二つの主要な機能分野がある。

「IBM は、複雑なルーティングと変換のためにトランスポート層とメッセージ・ブローカー層の両方を持つ業界唯一のベンダーです。WebSphere MQ と WebSphere Message Broker を使用してメッセージを失ったことは一度もなく、製品には非常に満足しています。IBM には最初から統合された製品があり、エンタープライズ・サービス統合バスは、バスに必要なすべての層をサポートできる IBM のようなベンダー 1 社を中心に構築する方が簡単です。IBM には統合された費用対効果の高いソリューションが揃っており、BCBS of Kansas City のような小規模な組織も市場で競争力を持てるようになります。」

— BCBS of Kansas City エンタープライズ・アーキテクト、Erik Brokaw 氏

コストと複雑さをコントロールしながら統合の課題を緩和

IBM の提供する ESB メッセージングおよびエンリッチメント・ソリューションは統合戦略の大幅な改善を達成するのに役立ちます。

安全で信頼性の高いメッセージングの確立

メッセージング・プラットフォームはビジネス・データを損失や破壊なくアプリケーションとサービスに受け渡し、データ損失による業務の中断を減らして実証された安全な伝送を実現する必要があります。例えば、口座間の資金振替を処理する銀行アプリケーションの場合、信頼性のない配信は許されません。競争力の維持に必要なサービス品質が保証できなくなります。信頼性の高いメッセージングにより、SOA、アプリケーション、ビジネスが情報を確実に伝えることができるようになります。

メッセージングとエンリッチメントによる投資の最適化

多くの組織が、あらゆるもの同士を接続するという形でメッセージング・プラットフォームによる ESB ソリューションの展開に向けた最初の一歩を踏み出しています。しかし、成功した組織は、アプリケーションの接続性と統合に関する投資を最適化するために、メッセージングを ESB エンリッチメントによって補完しています。IBM の ESB 製品は、メッセージング・プラットフォームを補完するエンリッチメント機能を備えており、次の三つの重要分野にわたって、高コストで組織を弱体化させる IT の複雑さを解消し、統一されたシンプルなソリューションを提供します。

- 迅速で柔軟なアプリケーション統合
- 統合コストの削減
- 次世代の相互接続性

迅速で柔軟なアプリケーション統合の実現

ビジネスの俊敏性を実現するには、製品とサービスを素早く市場に送り出す必要があります。そして製品とサービスを素早く市場に送り出すには、企業アプリケーション間でビジネス・データと情報を迅速に共有して、最小限の時間とリソースで新しい洞察と生産性をもたらす必要があります。

メッセージングがビジネス情報の伝達を保証するのに役立つ一方で、ESB エンリッチメントは、アプリケーションにまたがるメッセージとイベントのルーティング、メディエーション、変換、配布によって伝達を強化し、ポイントツーポイントの接続にはつきものの大量のコーディングや保守作業なしで迅速な統合が可能です。ESB エンリッチメントによって、通常は各アプリケーションの一部として開発される統合ロジックを切り離すことができます。各アプリケーションから統合ロジックを削除すると、すべてのアプリケーションの統合が単純化され、ビジネス・サービスに柔軟性もたらされ、迅速にサービスを提供できるようになります。例えば、保険業界では、複数のレガシー・アプリケーション、データベース、システムを接続して支払い請求を処理する必要があります。アプリケーションを迅速かつ簡単に統合できない場合は、支払い請求の処理に何日もかかることがあります。しかし、ESB エンリッチメント・ソリューションを活用することで、請求の処理時間を大幅に短縮して市場での優位性を大幅に高め、運用効率と顧客サービスを改善することができるのです。



「WebSphere Message Broker は、重要な追跡アプリケーションを実行するのに必要な、実証されたパフォーマンス、スループット、可用性を備えています。Microsoft® .NET や IBM WebSphere MQ といったさまざまなソースからデータを入力し、そのデータを変換して、データベースに格納します。アプリケーションの稼働を継続させるために必要な柔軟性をもたらしてくれます。」

— 英国の郵便会社を顧客とするコンサルタント会社の筆頭アシスタント・エンジニア





「私たちの最も重要な貢献の一つは、統合についてもっと戦略的な考え方を奨励することです。クライアントがクラス最高のポイント・ソリューションをやめて、一貫した分かりやすい統合ツール・パッケージを活用したエンドツーエンドのアプローチへと向かうことを支援しています。私たちの見解では、クライアントの拡大されたインフラストラクチャーの複雑さに完全に対応可能なツール群を揃えた企業は IBM だけでした。Connecta は、顧客が IBM WebSphere DataPower Integration Appliance XI50 を展開するのを支援しました。これは、エンタープライズ・サービス・バスの専用ハードウェアで、既存の WebSphere MQ および WebSphere Message Broker と連携して、1 か月で 800 万件のメッセージを処理できる高性能のメッセージング・ハブになります。」

— Connecta 社セールス・ディレクター、David Logg 氏

「投資の観点からは、SOA を使用の方が経済的です。サイロ化された製品を購入すると、やがて統合化が進み再利用可能な技術に置き換える必要が出てきて、長期的には費用がかかることになります。再利用できない場合、その技術は重荷になるのです。」

— 地区医療局の担当者

統合コストの削減

迅速で柔軟なアプリケーション統合のためには、技術だけではなく、アプリケーションの相互接続機能を開発する適切なスキルとリソースも必要です。統合のニーズが大きくなるにつれて、多くの場合、このようなポイントツーポイント接続機能の開発と保守にかかるコストは増え続け、システムは複雑になっていきます。

IBM が提供する費用対効果の高い ESB メッセージングおよびエンリッチメント・ソリューションは、複数のビジネス・アプリケーションを接続する際に必要とされる冗長で複雑な統合プログラミングを不要にし、その結果として新しい IT プロジェクトへの予算と人員の割り当てを可能にします。さらに、IBM の ESB エンリッチメント機能は、IBM WebSphere® MQ ソフトウェアの信頼性の高いメッセージング機能とシームレスに統合されています。そのため、既存の WebSphere MQ の資産、スキル、リソースを活用して、継続的な開発コストと保守コストを削減できます。メッセージング機能に加えてエンリッチメント機能を活用することで、多くのお客様は、わずか半年で、投資を回収しています。

次世代の相互接続性への橋渡し

柔軟性とコストの二つだけが、アプリケーション統合の障害ではありません。もう一つの課題は、人とプロセスにまたがってビジネス情報に迅速にアクセスしながら、絶えず登場してくる技術と標準に対処することです。複雑で広範な接続をサポートするソリューションに適応する必要があります。IBM が提供する ESB メッセージングおよびエンリッチメント・ソリューションは、REST (Representational State Transfer)、AJAX (asynchronous JavaScript™ and XML)、HTTP のような Web 2.0 技術を、従来 Web 2.0 アプリケーションとの統合を意図していなかったバックエンドのレガシー・アプリケーションや中



核アプリケーションにシームレスに橋渡しすることで、新しい低コストのサービス開発をサポートします。IBM の ESB ソリューションは、企業、モバイル、リアルタイム、テレメトリーのような多くのアプリケーションとのインターフェースを内蔵したユニバーサル接続インフラストラクチャーとして、センサーやアクチュエーターのような組み込み機器や携帯機器にまで、ビジネス・データとアプリケーションの接続対象を拡大します。このような機能は、グローバルな競争環境で企業をスマートにし俊敏にするのに役立ちます。

複数の ESB 技術を利用している場合は、すべての ESB ドメインにわたるサービスとアプリケーションのガバナンス、セキュリティー、管理が不可欠です。ESB フェデレーション機能は、ドメイン間にわたる迅速で簡単な接続を支援します。フェデレーテッド ESB が形成する単一の論理インフラストラクチャーは、データ、アプリケーション、リソース、スキルの共有を可能にし、最終的には統合コストと複雑さを軽減します。例えば、電気通信サービス・プロバイダーの場合、業界で競争力を維持するには、ユーザーがいつでも、どこからでも、どのような機器を使用してもビジネス情報にアクセスできる、最新の技術に基づき高度に差別化されたサービスが求められます。プロバイダーは、業務や部門、さらにはパートナーや顧客全体にわたりバックエンドを統合する必要があります。そのような場合、フェデレーション機能をサポートする ESB は、競合との差別化を図り、ダイナミックな将来の統合ニーズに備えた強力な SOA の基盤となります。

業界データの配信の加速

最後に、多くの ESB は、医療や金融、保険などの特定の業界内で、全体的なソリューションの一環として展開されるという点が重要です。組織間の情報通信と情報共有の標準は業界ごとに異なり、そのため開発者は独特で洗練された通信プロトコルとデータ形式の要件を理解し、標準に準拠したカスタム変換コードを記述する必要があります。標準の変更に伴うテスト、認証、継続的な保守、コーディングの変更は、開発組織にとって大きな重荷になっています。ESB ソリューションと組み合わせて、IBM WebSphere Transformation Extender 業界パックを使用すると、業界データの交換と標準準拠に関連した複雑さと継続的保守の負担が緩和されます。WebSphere Transformation Extender ソフトウェアの追加により、業界変換ソリューションの迅速な展開が可能になり、専門的な業界変換スキル育成が不要になり、業界トランザクションを通じた顧客、パートナー、企業とビジネス・プロセスとのシームレスな統合が実現します。一例として、医療プロバイダーは、IBM が提供する ESB メッセージングおよびエンリッチメント・ソリューションに加えて、WebSphere Transformation Extender 業界パックを使用することで、Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) に準拠して、請求書管理の費用を 50% 以上削減できます。IBM SMART SOA アプローチは、IBM がお客様の SOA 展開を支援した経験に基づき開発した一連のガイドと原則です。ESB メッセージングおよびエンリッチメント・ソリューションは、このアプローチの基盤となるものです。SOA とビジネス・プロセス・マネージメント (BPM) 製品にまたがる IBM ポートフォリオ統合は、投資の最適化と累積的な IT の俊敏性増大に役立ちます。





IBM が選ばれる理由

IBM WebSphere ソフトウェアは、最高レベルの信頼性を維持しながら、ポイントツーポイント接続と統合に関して、高コストで組織を弱体化させる IT の複雑さを解消する SMART SOA アプローチを提供します。IBM WebSphere MQ ソフトウェアは、世界中で 15 年以上にわたり 10,000 社に利用されているトップレベルのメッセージング伝送ファミリーであり、80 を超えるプラットフォームを搭載しています。一つのサイズですべてのビジネスに適合させることはできません。IBM は、ユーザーの環境、スキル、リソース、要件に最も適した簡単に迅速な展開が可能な各種 ESB を提供しています。IBM WebSphere Message Broker ソフトウェアは、異種 IT 環境におけるユニバーサル接続と変換を目的として開発されました。IBM WebSphere Enterprise Service Bus ソフトウェアは、統合された SOA および BPM プラットフォームのための IBM WebSphere Application Server ソフトウェア向けに最適化されています。IBM WebSphere DataPower® Integration Appliance XI50 専用ハードウェアは、単純化された展開機能と強化されたセキュリティ機能を提供するのに役立ちます。IBM の ESB ソリューションと WebSphere MQ ソフトウェアは、包括的な ESB メッセージングおよびエンリッチメント・ソリューションを提供し、コストと複雑さを削減しながら迅速で柔軟かつ信頼性の高いアプリケーション統合を推進し、SMART SOA の基盤を確立します。

お問い合わせ

IBM が提供する ESB メッセージングおよびエンリッチメント・ソリューションを使用して、ビジネスの俊敏性とコスト最適化を実現する方法の詳細については、IBM 担当者または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/software/jp/websphere/integration/

© Copyright IBM Corporation 2009

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
October 2009
All Rights Reserved

IBM, IBM ロゴ, ibm.com, WebSphere および SMART SOA は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。これらおよびその他の IBM の商標である用語が、本文書で最初に登場したときに商標記号 (® または ™) を付されている場合は、本文書が公開された時点で、IBM の米国における登録商標または慣習法上の商標であることを示します。そのような商標はその他の国においても登録商標または慣習法上の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Java およびすべての Java ベースの商標とロゴは、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標です。

Microsoft は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標です。他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。本資料に記載の製品、およびサービスが必ずしもその他の国においても提供されるとは限りません。

本文書に記載された情報は、情報提供のみを目的としています。本文書に記載された情報の完全さと正確さを検証する努力はなされていますが、情報は「現状有姿」で提供され、明示的にも黙示的にも、いかなる種類の保証もなされません。さらに、この情報は IBM の現在の製品計画と戦略に基づいたものであり、IBM によって予告なく変更されることがあります。IBM は、本文書または他の文書を使用したことによって、あるいは本文書または他の文書に関連して、生じた損害に責任を負いません。本文書に記載された情報は、IBM (またはそのサプライヤーまたはライセンサー) からの保証または代表、または IBM ソフトウェアの使用にかかわる該当するライセンス契約の条件を変更することを意図しておらず、そのような効果を持つこともありません。

お客様はそれぞれ、法的要件を順守する責任を負います。お客様のビジネスに影響を及ぼす可能性のある関連する法律および規制の特定と解釈、そしてそのような法規を順守するために必要な行動の特定と解釈に関して、資格を持った法律家の助言を得ることは、すべてお客様の責任です。IBM は法的助言をすることはなく、IBM のサービスまたは製品によって、お客様が法律を確実に順守できると表明し保証するものではありません。